

薩摩川内市の10年先を見据えて

前編

本市の人口予測

令和7年度から新たな総合計画に基づきまちづくりがスタートしています。前編では、計画の構成などについて紹介いたします。

計画策定の経過・趣旨

令和7年度を初年度とする「第3次薩摩川内市総合計画」通称「薩摩川内2034」にいまする「ビジョン」を策定しました。

総合計画とは、本市に住む皆さんが安心して住み続けることができるように、まちづくりの

計画の位置付け

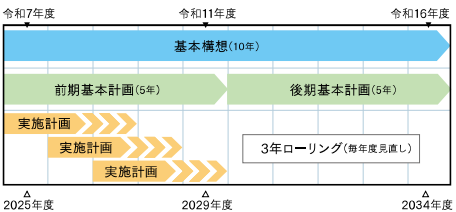
この計画は、薩摩川内市自治基本条例に基づき総合的な市政経営の指針を示す最上位計画として位置付けています。コミュニティ、市民安全、保健福祉、教育、産業振興、都市機能整備などさまざまな分野にわたる事業を1つの方向性の基に、時代の流れに乗りながら計画的に進めていきます。

計画の構成と期間

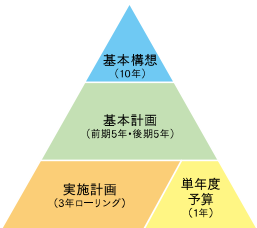
①基本構想(10年間)
本市が目指すべきまちのイメージや未来のまちの姿を定めるもので、総合的な市政経営の指針となるもの

②基本計画(5年間)
基本構想を実現するため、政策の方向性や施策を体系的に示すもの

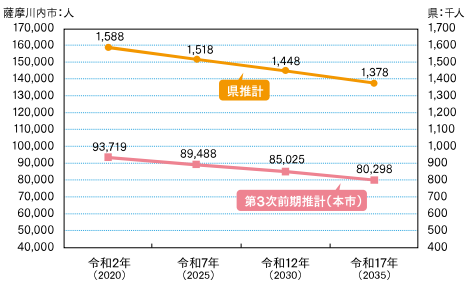
③実施計画(3年間)
基本計画に掲げた政策や施策に基づき、向こう3年間で取り組む事業を示したもの(施策や事業の見直しや修正を毎年度行)



▲計画期間イメージ



▲計画構成イメージ



令和7年4月現在、本市の人口は約9万人であり、今後も緩やかに減少し続け、令和17年には総人口が約8万人まで減少すると予測(※)されています。今後も、地方への人の流れを創出するため、地域の個性を生かしながら取り組みを進めることが必要です。

「総合計画」では、この人口の流れを捉えた上で、さまざまな目標を掲げ、目標達成に向けて取り組んでいきます。

※令和5年国立社会保障・人口問題研究所の試算による

未来のまちの姿

SDGs・カーボンニュートラルの達成とデジタル社会構築の理念の下、「心ゆたかな暮らし」と「持続可能な社会・環境・経済」をキーワードに、市民広聴の内容を分析して、本市が目指す「未来のまちの姿」を「人が繋がり、人が輝く、安らぎと賑わいのまち 薩摩川内」と設定しました。

また、「未来のまちの姿」を実現するために、6つの政策目標を掲げました。

6つの政策目標

(未来のまちの姿を実現するための政策単位の目標)

- ①共生と多様性で輝くまち
- ②安全・安心なまち
- ③健やかに暮らせるまち
- ④次世代につながる教育のまち
- ⑤活力と賑わいを生み出すまち
- ⑥社会を支える快適なまち

重点戦略プラン

6つの政策目標を達成するためには、それぞれの分野にとらわれず、分野をまたがって取り組むことが必要です。

本市ではこの考えのもと、これから重点的に取り組むことを「重点戦略プラン」として「社会・環境・経済」の3つの戦略を「環境・経済・社会」の3つの戦略を設定し、15のプロジェクトに取り組みしていきます。

ゾーニングビジョン

地域の空間構成(方針)長期の視点に立った市民の力が発揮できる市域空間の形成

住み慣れた地域に住み続けるために、それぞれの地域の特性・強みを生かした取り組みを進めていく必要があります。そのため、第3次総合計画では、第2次総合計画の3つのゾーン設定をより明確化し、市域を2圏域、6エリア、13地域、48地区としてゾーニングします。

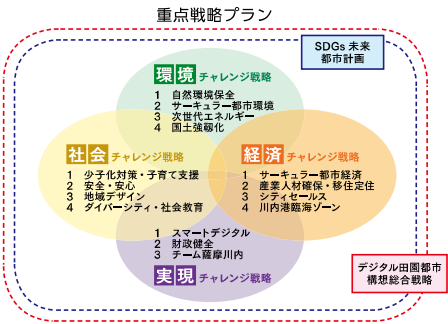
圏域(2)	エリア(6)	地域(13)	地区(48)
本土	川内北	川内北	亀山、可愛、育英
	川内中央	川内中央	川内、平佐西、平佐東、峰山
	川内南	川内南	隈之城、永利
	西	西	水引、浪浪、寄田、湯田、西方
甌島	東	東	八幡、高来、城上、陽成、吉川
	東	東	藤本、野下、市比野、桶脇、倉野
	東	東	副田、清色、朝陽、大馬越、八重
	東	東	斧洲、南瀬、山田、鳥丸、藤川
甌島	東	東	黒木、上手、大村、轟、蘭牟田
	東	東	答里
	東	東	上下
	東	東	手打、手岳、西山、内川内、長浜、青瀬

未来のまちの姿

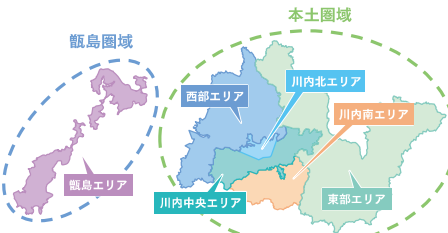
人が繋がり 人が輝く
安らぎと賑わいのまち 薩摩川内

目指すまちのイメージ

- <繋>つながる 世代を超えて繋がっている
- <輝>かがやく お互いに認め合い輝いている
- <安>やすらぐ 誰もが安心して暮らしている
- <賑>にぎわう 新たな交流が生まれ賑わっている



- SDGs 未来都市計画：SDGsの理念に沿い、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市において作成する計画
 - デジタル田園都市構想総合戦略：「心ゆたかな暮らし」と「持続可能な社会・環境・経済」を実現するために、各施策を充実し、成果指標などを位置付けた戦略
- ※ 重点戦略プランは上記計画および戦略を包含している



問合せ

▼本庁企画政策課政策G
(内線48333)

後編は、令和7年度広報薩摩川内10月通常版において、6つの政策における施策について紹介する予定です。